

## 平成19年度奥卯辰山健民公園の管理状況

施設所管課	土木部 公園緑地課
指定管理者	(株)岸グリーンサービス 代表者 岸 省三
指定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・従事員に対し、受付マナー講習会、接客講習会を実施 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・職員による利用者要望の聞き取り、管理への反映 ・アンケート箱を設置し、意見・要望の把握(延992件) ・要望等への回答を施設内等に掲示し、対応状況を公開 その他特記事項 ・施設利用マップ、ハザードマップを作成・周知
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・はだしの王国開催：参加者数1,500人 ・オープンカフェ：利用者数4,809人 ・パークゴルフ場：参加者数12,064人 ・その他(シニアアップゴルフ、ネチャプラネタリウム等)：参加者数653人 施設の情報提供、広報、広告 ・ホームページ開設、テレビ、ラジオ、チラシによるイベント広告実施 周辺地域、関係機関との連携の強化 ・地元町会、パークゴルフ関係団体等と協議会を開催 ・石川自然学校との協働による「里山ワキウガホデイ」の開催
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入(テイクアップ、フィールドアスレック) ・使用許可の件数(2)参照 ・使用料の収入実績(3)参照
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	樹木・芝生管理：年間工程表に基づき作業を実施 清掃：センターハウス、トイレ、園路等を1回/日実施 保守点検：ローラースライダー1回/日、安全柵1回/月ほか 警備：園内は2回/日、夜間機械警備(センターハウス) 小規模修繕：ロング滑り台、安全柵、電気設備ほか
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・緊急時対応マニュアルの策定、普通救命講習を実施 個人情報の管理状況：個人情報保護職員研修を実施

### (2) 施設の利用状況

利用指標(設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H18年度 (参考)	H19年度	前年度比	増減理由
公園利用者数(人)	114,000	128,000	112.3%	イベント開催、PRによる増

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
ディキャンプ	1,139 千円	0	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	50,000	人件費	14,649
利用料収入	1,139	光熱水費	3,887
自主事業収入	5,897	修繕費	1,543
		植栽管理費	17,918
		その他	17,873
合計	57,036	合計	55,870
収支差額	1,166		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 19 年 8 月	こどもの遊び場が少ない	カシ - 等の遊具の無料貸出開始
アンケート結果	「楽しかった」 71%(H18:66%)	清掃の程度「良い」 70%(H18:67%)

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 20 年 2 月	雪が殆ど無い所で子供とソリ遊びをしていた方(女性 40 才前後)が側溝部分で転倒し、背骨骨折	・救急車を手配し搬送 ・念のため側溝を撤去

その他報告事項など

- ・「はだしの王国」など大規模なイベントを、関係機関(MRO、いしかわ自然学校、いしかわ自然体験支援隊)と協力し、内容の充実と集客に努力している。
- ・シェイプアッププログラム(パソコンに年齢、身長、体重、血圧等を入力すると園内のトレーニングコースに利用プログラムを提供)等、健康づくりを支援する取り組みを進めている。

( 6 ) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	・意見箱の設置、接客教育の実施等により、利用者の声を運営に活かし、サービスの質を向上させている。 ・「はだしの王国」や「パークゴルフ大会」、「ネチャ・プラレール」をはじめとする各種イベントの他、「シイプアッププログラム」等、健康促進に向けた取り組みなど、様々な自主事業の実施を積極的に進めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	・本公園の特徴である芝生の管理については、専門的ノウハウを遺憾なく発揮し、適切な管理が行われている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・広大な園地に斜面や樹林地、池等安全管理に十分な配慮が必要な箇所が多く存在している公園であり、園内巡視や危険箇所の把握、遊具点検を他の公園以上に徹底することが求められる。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・利用者の意見、苦情に対しては、迅速にかつ誠実に対応している。
総合評価	A	・公園管理者としての自覚があり、経費の削減・効率化に力を入れている。接客対応も向上した。施設の設置目的にあった管理運営がなされている。

評価基準

- A(優): 仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

( 7 ) 助言・指摘事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目の届きにくい公園外周区域の適切な緑地管理、財産管理(公園境界確認・見廻り等)に引き続き努めること。</li> <li>・H19年度に水田やトイレが完成した里山保全園地について、地元町会、近隣小中学校、金沢大学等の他の関係機関とも連携し、有効な活用を図ること。</li> </ul>
---